

ARを活用して照合作業をスマート化 見る、比べる、記録するをシンプルに

VARcontrastは、AR（現実拡張）技術を用いて『リアル』と『デジタル』を照合するソフトウェアです。タブレット上で、データを基準に現物と重ね合わせて確認することで、評価と記録を同時に行うことができます。



ご利用メリット

- ・ ミスの低減

データを基準に現物と重ね合わせて照合するため、抜けやモレといったミスを低減します。

- ・ 作業効率の向上

照合と記録を同時に行えることで、作業時間を短縮して効率化ができます。

- ・ 直観的な操作性

インタラクティブでわかりやすい操作性により、誰でもすぐに使用を開始できます。

- ・ AIによる自動検出

実物の照合対象を自動判別して検出することで、煩雑な作業をサポートします。

- ・ その他

携帯が容易なタブレット操作により、作業場所を選ばず多様な環境で使用できます。

照合結果のデジタル記録により、検査履歴を管理・追跡できます。

ARやAIを活用した新しい手法を導入することで、次世代の効率的な検査ができます。

特 長

1. CADなどの3DデータをAR用データに変換できます。（※1）
2. CADデータに含まれる属性情報をAR用データとして出力できるため、現場での確認が可能です。（※2）
3. 3Dデータと現物をタブレット上で重ね合わせて照合できます。
4. 照合結果をレポートとして記録し、PDFファイルに出力できます。
5. 照合作業中に結果の内訳をタブレット上で確認できます。
6. AI技術を活用して実物上の照合対象を自動検出できます。（※3）

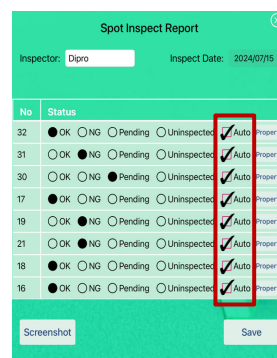
（※1,2）AR用データはSpace Vertexで変換を行います。またCADデータの形式によってはカスタマイズが必要な場合がございます。

（※3）実物の照合対象に合わせてAIモデルを構築します。

作業フロー



AIによるスポット溶接打点自動検出



Spot Inspect Reportのスクリーンショット。Inspector: Dipro, Inspect Date: 2024/07/15。Tableの列はNo, Status, Auto, Property。Tableの行は32, 31, 30, 17, 19, 21, 18, 16。Tableの行のStatus列にはOK, NG, Pending, Uninspected, Autoのラジオボタンがあり、Autoはすべてチェックされている。Tableの下にはScreenshotとSaveのボタンがある。

No	Status	Auto	Property
32	● OK ○ NG ○ Pending ○ Uninspected	✓ Auto	Property
31	○ OK ● NG ○ Pending ○ Uninspected	✓ Auto	Property
30	○ OK ○ NG ● Pending ○ Uninspected	✓ Auto	Property
17	● OK ○ NG ○ Pending ○ Uninspected	✓ Auto	Property
19	○ OK ● NG ○ Pending ○ Uninspected	✓ Auto	Property
21	○ OK ● NG ○ Pending ○ Uninspected	✓ Auto	Property
18	● OK ○ NG ○ Pending ○ Uninspected	✓ Auto	Property
16	● OK ○ NG ○ Pending ○ Uninspected	✓ Auto	Property

OK/NG判定レポート

製品・サービスに関するお問い合わせ

e-mail :
dipro-var-se@cs.jp.fujitsu.com

デジタルプロセス株式会社

本社/川崎オフィス :
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町1番地5 Fujitsu Uvance Kawasaki Tower
拠点 : 名古屋オフィス/豊田オフィス/浜松オフィス/大阪オフィス/
長野オフィス/福岡オフィス/厚木オフィス

HP www.dipro.co.jp